

くらしを支える紙製品

～紙にできること～

2021年

3月16日(火) >> 8月29日(日)

[会期中の休館日]

月曜日(祝日の場合は開館)、3/23(火)、4/30(金)、5/6(木)、5/7(金)、5/11(火)
5/12(水)、6/3(木)、6/10(木)、7/27(火)、7/28(水)、8/10(火)、8/11(水)、8/12(木)



[開館時間] 10:00～16:00(最終入館15:30)

[入館料] 大人400円/小中高200円

*新型コロナウイルスの影響により、やむをえず会期や開館時間等を変更する場合があります。ホームページ、SNS等で最新情報をご確認ください。

*ご入館に予約は必要ありませんが、館内の混雑を避けるため、入館制限を行う場合があります。

東京都北区王子 1-1-3 (飛鳥山公園内)
TEL: 03(3916)2320 FAX: 03(5907)7511
URL: <https://papermuseum.jp/>
SNS: Facebook / Instagram / Twitter



公益財団法人 紙の博物館



くらしを支える紙製品

～紙にできること～



身近な紙製品から紙の特性、可能性を知り

持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けて、日々のくらしの中でできることを考える



紙は発明以来、2000年以上にわたって人類の文化、文明、歴史を支えてきました。世界的な製紙大国である日本ですが、紙の需要は近年減少が続いています。昨年より続くコロナ禍の中で、印刷・情報用の紙を中心とした「ペーパーレス化」に拍車がかかる一方で、トイレトペーパーやティッシュペーパーの買い占め騒動などにより、生活必需品である紙製品の重要性が改めて表面化しました。また、世界的な脱プラスチックの流れの中で、紙製品への期待も高まっています。

私たちは普段目にしているものだけでなく、見えないところ、気付かないような姿でも、多くの紙製品に囲まれて生活しています。本展が、身の回りの紙製品をとおして、紙という素材の特性、汎用性、奥深さ、可能性などを感じるとともに、地球環境問題という大きな課題に、私たちが日々のくらしの中でできることを考えるきっかけとなれば幸いです。



さまざまな紙製品



災害時に活躍する段ボールベッド

会期中のイベントについてはホームページなどで随時お知らせします <https://papermuseum.jp/ja/event/>

>>> 「親子で牛乳パック工作」「自由研究 紙を知ろう」「野菜から紙をつくらう」などを夏季に予定

次回企画展

渋沢栄一と近代製紙業 ～洋紙発祥の地・王子のはじまり～

2021年9月18日(土)～11月7日(日)



公益財団法人

紙の博物館

〒114-0002 東京都北区王子1丁目1番3号
TEL (03) 3916-2320 FAX (03) 5907-7511
<https://papermuseum.jp/>

PAPER MUSEUM

- 開館時間 10:00～16:00 (最終入館15:30)
- 休館日 月曜日(祝日の場合閉館)、祝日後の平日、年末年始、臨時休館日
- 入館料 大人400円/小中高200円

*身体障がい者手帳、要の手帳(障害手帳)または精神障がい者福祉手帳をお持ちのご本人は無料、介助の方は半額となります。



- ・JR京浜東北線 王子駅(南口) 徒歩5分
- ・東京メトロ南北線 西ヶ原駅 徒歩7分
- ・東京さくらトラム(都電荒川線) 飛鳥山停留場 徒歩3分
- ・都営バス(王40甲・王55-草64系統) 飛鳥山停留所 徒歩4分
- ・北区コミュニティバス 飛鳥山公園停留所 徒歩3分